プリンセス
小公女セーラ

第41話

『妖精たちのパーティー』
（仮）

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第四十一話　『妖精たちのパーティー』

登場人物

セーラ……………………島本須美
ミンチン……………………中西妙子
アメリア……………………梨羽由記子
ジェームス……………………郷里大輔
モーリー……………………向殿あさみ
ラビニア……………………山田栄子
ジェシー……………………飯塚はるみ
ガートルード……………………佐々木るん
ベッキー……………………鈴木みえ
ピーター……………………坂本千夏

ロッティ……渡辺菜生子
アーメンガード……八百板万紀
ペネラピ……
ジェイン……
ダイアナ……
ドルシラ……津島瑞穂
ラムダス……田中秀幸
クリスフォード……仲村秀生
洋服屋……神山卓三

カメラ	画面		音声
1	ミンチン学院の煙突から立ち登る煙り		S・E（振鈴の音）
2	馬小屋の中　ワラの上に置かれたエミリーと写真		～～～～
3	馬小屋の中のエミリーと写真 T・B　ガランとした馬小屋内		
4	教室内　石炭バケツにシャベルをつっこみ一山すくう		S・E（ザッ!）
5	ダンロに石炭をくべるセーラ		生徒達(off)「お早うございます、先生!!」 ミンチン(off)「お早うございます」 S・E（ザッ!!）
6	ミンチン　教室の中を見わたしつつ　にこやかに		ミンチン「……皆さん……明日はなんの日だか知っていますね?」
7	皆　いっせいに答える　ラビニアは手を上げない		上級生達「はあーい!!」

8	下級生もワンテンポおくれて返事する　ロッティがはしゃいでめだつ		下級生達「はぁ〜〜い!!」 ロッティ「ハイ! ハイ!」
9	ミンチン　ひとわたり教室内を見わたして　ロッティに当てる		ミンチン「……では、ロッティ……」
10	ロッティ　当るとは思ってなかったのか　ドキッとなって答をわすれる　顔が赤くなる		ロッティ「え!……ええと……ええと……忘れちゃった……」
11	どっと笑う上級生 あきれるミンチン		上級生「アーハハハハ……」 〜〜〜〜
12	そっとロッティに教えてやるセーラ		セーラ「ロッティ、万聖節（オール・セント・デイ）よ」
13	ロッティ　ハッと思い出して ミンチンに答える		ロッティ「あっ、オール・セント・デイ、万聖節です!!」
14	にっこりと大きくうなづくミンチンとアメリア		ミンチン「そうです、全ての聖者たちをお祭りするたいせつな日ですね……」

15	セーラの方を見てニーと笑って鼻をこするロッティ		ロッティ「フフッー」
16	セーラもクスンと笑う		セーラ「クスッ!」
17	ミンチン　一同を眺め廻して		ミンチン「……では……その前の晩の、つまり今夜がなにか知っていますね……!」
18	一同またいっせいに手をあげる ミンチン　見わたして当てる		一同「はあーい!!」 ミンチン「……アーメンガード」
19	アーメンガード　さっと立って		アーメンガード「ハロウィンです」
20	ミンチン　皆に向って説明する アーメンガード　カット尻で座る		ミンチン「そう、あらゆる妖精が集って来て、私たちの身近に姿を現わすと云い伝えられている万聖節の前夜祭です」
21	アメリア　ニコニコして		アメリア「そこで、今夜は、この学院でもハロウィンのパーティーを開く事にしましたのよ」
22	大騒ぎの一同　ラビニアは気取っている　C-PAN		一同「ウワ――!!　キャ――キャ――!!」 ミンチン(off)「静かに!」

23	静まる生徒たち チョイ間があって目線をセーラにやって		ミンチン「静かになさい！……。 セーラ」
24	セーラ　はっとなってミンチンに向き　すぐに立つ		セーラ「ハッ……！　はい、院長先生……」
25	ミンチン　セーラに告げる		ミンチン「アメリアとラビニアさんに聞いて、 今夜必要なものを買い整えるように」
26	セーラ　うなづいて		セーラ「はい、判りました」
27	ラビニアふりむいてセーラに向く　冷い笑いをセーラに投げかける		ラビニア「フフフッ」
28	紙片を見つめるジェームス 紙片を下げておどろく		ジェームス「……な……なんだこりゃ……！」
29	ジェームス　ひとわたり読んで紙をモーリーに渡す セーラもその内容を読んでる		ジェームス「いくらハロウィンだからって、こんなにごっそりカボチャを買い込んだら、しこたま金がかかるぜ……！」 セーラ「あ、それはラビニアさんの注文なん

	ジェームス思わず聞きかえす 目線　紙片からジェームスにうつして 大きくうなづくジェームス	です」 ジェームス「なんだって?」 モーリー「院長先生もラビニアさんには、そうとう気を使ってらっしゃるんだよ」 ジェームス「なるほど……」
30	セーラ　モーリーにたずねる	セーラ「それで、他にも買い物が多いのでベッキーと一緒に行ってもいいでしょうか?」
31	モーリー　セーラに向いて 釘をさしてからラスト紙片を セーラにさし出す	モーリー「ああいいよ。ただし市場でピーターなんぞと遊んできたら許さないからね」
	A・C	
32	セーラ　紙をうけとって ベッキーと顔を見合わす	セーラ「はい、モーリーさん」 二人「フフッ!」
33	使用人出口　チョイ間あって まずベッキーが、ウキウキととび出て来る　つづいてセーラ ベッキーがドアをしめて　あとにつづく　声をはずませてしゃべるベッキー 階段下でちょっと止まるセーラ	S・E（ギッー） ベッキー「ウフフフフフフルンルン」 S・E（バタン） ベッキー「よかったですねぇ、お嬢様……。私の田舎でも毎年ハロウィンは村中で、

	も階段途中で止まって ふりむき ベッキーあとを追ってかけ登って行く		にぎやかにやるんです。愉しみですわァ！」 セーラ「フフフ……ベッキーったら……さ、早く行きましょう」 ベッキー「ハイ、お嬢様……」
34	通りをわたって行く二人		
35	窓外を行く二人が見える		
36	ラムダスと洋服屋が外を見ている		ラムダス「あの左側を行く少女なんですが……」 洋服屋「あ、あの子なら私もよく知っていますよ」
37	ラムダス　思わず聞き返す 洋服屋　ラムダスに返事しておいてクリスフォードに向き二、三歩寄る		ラムダス「ほんとですか」 洋服屋「ええ……実は、あの子は以前父親と一緒に私の店へやってきましてね……」
38	エミリーをさし出す洋服屋 BGイメージ		洋服屋「うちの看板にしていたフランス人形を買い求めていったんです」（こぼす） 〜

39	セーラ　人形を手にしてだく		〜〜〜
40	セーラの父　しゃがんでセーラ をだく		セーラの笑い声「（エコー）フフフフ」
41	ダンロの炎からT・B　車イス に座るクリスフォード ソファーに座る洋服屋 クリスフォードうなづいて		S・E　（パチパチ……） 洋服屋　「その後父親が亡くなって気の毒な身 の上になったと聞いていましたが…… こちらのおとなりに住んでいたとは存 じませんでした」 クリスフォード「なるほど……」
42	クリスフォード　真面目に話す 少し身を乗り出して 指をふって制するように		クリスフォード「君があの少女のことを知って いるとあればなおさら結構だ……あの 気の毒な少女のために服を仕立ててや ってもらいたい。ただし、となりに住 む、この私からだとは感づかれないよ うに」
43	洋服屋　ニッコリとうなづいて 洋服屋　自分の頭を指して		洋服屋　「……お任せ下さいまし。なに、あの 子の服でしたら寸法をとる必要なぞ、 ございません、ちゃーんとここに控え てございますから」

44	微笑でうなづくクリスフォード 少し身を引いてからセリフ	クリスフォード「ハハハ……よろしく頼むよ、 御主人」
45	洋服屋　うなづいて　立つ	洋服屋　「はい、かしこまりました。では、さ っそく……」
46	コベントガーデンマーケット PAN ←	
47	ホーキを肩にかついだピーター ビックリして	ピーター「えー―ッ?!　カボチャを生徒の数だ けですかあ！」
48	うなづくセーラ ベッキー　セーラに告げる ピーターあきれたかんじで	セーラ　「ええ、そうなの、ピーター」 ベッキー「それにお嬢様、アメリア先生の分も いりますです」 セーラ　「あ、そうね……」 ピーター「やれやれ、こいつは荷馬車が必要で すよ」 セーラ　「えッ、そんな……」
49	ピーター　ここぞとばかり得意 気に	ピーター「エヘヘ……。任しといて下さい。野 菜を沢山買ってもらうんですからね、 市場の馬車でお送りしますよ」

50	セーラとベッキー　うれしそうに二人顔見合わす		セーラ　「まあ……」
51	後の荷台ではカボチャがゆれる		
52	ピーター　少々皮肉っぽく言う		ピーター「ふ〜〜ん……あの学院でハロウィンパーティーをねぇ……?!　フフフ……でも楽しいだろうなァ……」
53	街の中　行き交う人々と馬車 ピーターの馬車が行く		S・E　（カッポ、カッポ、カッポ……）
54	ピーター　カボチャのカゴをうんこらせっと運んで来ておろす		ピーター「よ……よ……よいしょ、と!」
55	セーラ　声ひそめて		セーラ　「ありがとう!　ピーター」
56	ピーターも声ひそめて ピーター　学院の様子をうかがって　また声をひそめて		ピーター「なあに、久しぶりにお嬢さんを乗せられてごきげんですよ……。……。じゃ愉しいハロウィンを……毎度あり!」
57	ピーター　とめてあった馬車にポンと乗って　ふりむいて手を		

	ふる　セーラ　ベッキーinしてくる　ひとむちいれるピーター　少し来て見送る二人		ピーター「それッ！」 S・E（カッポ、カッポ、カッポ、ガラガラ……）
58	セーラ　ホッと肩の力がぬける		セーラ「フーッ！」
59	使用人階段をおりる二人　おもい！　途中　ちょっと立ち止まって　またヨイショヨイショとおりていく		二　人「ヨイショ、ヨイショ」 ベッキー「ハァ〜〜おもいですねえ〜〜……」 二　人「ヨイショ、ヨイショ、ヒィ〜〜ヒ〜〜！」
60	遊ギ室内に立てられた枯れ木にリンゴやら仮面やらがぶらさがっている。↓PAN・DOWN		生徒達「（ADLIB）」
61	リンゴを結ぶ手　UP		
62	仮面をつるす手のUP		
63	ワイワイはしゃぎながらの作業		

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

64	床上　お化けの顔を描いている子供の手		生徒達「（ＡＤＬＩＢ）」～
65	ハサミで切りぬく イスに座ってる		Ｓ・Ｅ（チョッキン） ペネラピ「アハハ……できた!!」
66	床に座ってる		ジェイン「私も!」
67	←ＰＡＮ　よじったリボンをカベにおしピンでとめているジェシー		
68	反対側のカベにはラビニアが作業中　最後の一本をとめ終えて振り向く		ラビニア「アーメンガード、まだなの!　早くそこを止めて!」
69	まどぎわの天井近くにテープをまとめようとするアーメンガード　テープをはなしてしまう バラバラにおちるテープ Ａ・Ｃ		アーメンガード「ま、まって、もうすぐ………アア!!」
70	ヒラヒラと左右にわかれて落ちるテープ　アーメンガードは机		

No.	画面		台詞
	やイスを積んだ上にいる		アーメンガード「あ〜〜!!」
71	ヒラヒラ落ちるテープ　ラビニアにもテープがひっかかっている		ラビニア「……アーメンガード!!」
72	テープのからまったジェシーののしる		ジェシー「あ〜〜ほんとにダメね！　グズなんだから!!」
73	いちばん上のイスにしがみついているアーメンガード		アーメンガード「だって……こ、こわいんだもん……」
74	床に落ちる小麦粉入りの小袋　白い粉が舞う		ガートルード「アッ!!」
75	ガートルード　さがった棒をヒョイと上げて　床から拾いあげて棒につけようとする　ゆれてうまくつかない		ガートルード「ロッティ!!　ちゃんと持ってなさいよ、何よ……ロッティ……これじゃいつまでたっても、とりつけられないわよー！」
76	ロッティ　ベソかいて		ロッティ「だって、これ重いもん……！」
77	ガートルードおこる　大声で		ガートルード「泣かないの!!」

78	ロッティ　持っていた棒をほっぽり出して大声で泣く		ロッティ「ワ〜〜ン、またおこるゥゥ……!」
79	ドアを開けてアメリアが顔を出す		S・E　（ガチャ） アメリア「さああ皆さん、ハロウィンの飾りつけは進んでいますか!」
80	年少組がいきおいよく手にしてたお面等を見せる PAN・UP↑するとテーブルが出され　その上にリンゴなどがのってる その後にハロウィンツリー　五色のテープは完成してる		生徒達「ハーイ!!」 アメリア(off)「まあ!　まあまあ、たのしくなったこと!!」
81	アメリア　パンと手を打って		アメリア「ハイ!!　みなさんのお待ちかね!」
82	アメリア　ドアを大きく開く 大きなカゴをセーラとベッキー アメリアがセーラのカゴを持つのを手伝う		アメリア「カボチャの到着ですよォ〜〜!」 一同「ワ〜〜イ」 アメリア「皆さん、それぞれ好きなのをえらんで下さいね!」
83	ラビニア　ジェシー　ガートルル		ガートルード「わ、はやく行こう、はやく!」

	ード　手前へわっと来る	ジェシー「うん!!」 三　人「うわ〜〜ッ!」
84	ラビニアたち　ワーっとおしよせて他の子供をおしのけるようにカボチャのカゴにとりつく	ラビニアたち「ワ〜〜」 他の子供達「ア……ワ……（ＥＴＣ　ＡＤＬＩＢ）」
85	ラビニアたち　選んでいる	ガートルード「ねえ、どれがいい?」 ジェシー「そうねェ……」 ラビニア「フフフ……」
86	ラビニアたちのおしりがじゃまで中が見えない	ロッティ・ジェイン「ア、アン……」
87	少し遠まきにしている他の生徒たち	生徒たち「ガヤガヤ……（ＡＤＬＩＢ）」
88	アメリア　他の生徒たちを気づかって	アメリア「ア……順番にね、皆んなの数だけちゃんとありますから」
89	ラビニア　中の方からほじくり出すようにして取る 他の二人　自分の狙っていたの	ラビニア「これがいいわ」 ジェシー「あたし、これ」 ガートルード「ホンじゃ、あたしはこれ!」

	をサッと取る		
90	ラビニアたち　少し手前に来て互にカボチャを見せ合ったりしている　後はワイワイとさわがしい　その様子をうかがうミンチン		子供達「（ＡＤＬＩＢ）ワーイ、ワーイ、あたし、これ、これがいい（ＥＴＣ）ガヤガヤ……（アドリブ）……」
91	アメリアからＣ－ＰＡＮ　アメリアミンチンに気付いてふりむく 部屋の中を見ているミンチン 神経質そうにメガネをいじる		アメリア「……?!」 アメリア(off)「お姉様……」
92	ミンチンの見た目　かざられた室内		子供達「ワイワイ、キャッキャ……」
93	おもむろにアメリアに向き一言いって　アゴでうながすようにひっこむ		ミンチン「……アメリア……」
94	しょんぼりして続くアメリア		アメリア「ハイ、お姉サマ……」
95	階段の方へ行くアメリア out		

	見送ったセーラとベッキー 顔見合わせる	
96	ロッティが大きなカゴの中にのこった一個を取ろうとしている	ロッティ「ヨイショ……と」
97	セーラ　ロッティの様子に気付いて	セーラ「あら、ロッティごめんなさい、今、とってあげるわ」
98	セーラが取ってロッティにわたす　ニッコリ笑うロッティ	セーラ「ハイ、あなたの分」 ロッティ「ありがとう、セーラ・ママ」
99	クルミを刃物で割ろうとするジェームスの手　まずかるくやって刃を合わせ目にくいこませてから力を入れてパカンと割る	S・E（コンコンコン） S・E（パキン！）
100	クルミを割るジェームス その中をくり抜くモーリー (off)でドアあき　入口を見る二人	S・E（コンコン……パカン） S・E(off)（ガチャ）
101	カラのカゴを持って入って来る ベッキーとセーラ	ジェームス(off)「おう、二人ともちょうどいいところへ来た……」

	ジェームス立つ		S・E（ガタ…）
102	ジェームス　クルミを示して ナイフをクルッと回して説明する		ジェームス「このクルミを割って中味を取り出しとくんだ」 セーラ(off)「ハイ」 ジェームス「それから、カラの内側もきれいにくりぬいとけ」
103	セーラ　何に使うのかわからない　キョトンとして		セーラ　「え……?」
104	モーリー　自分でくりぬいたものを示して　カット尻でそれをテーブルに置きつつ立つ		モーリー「ホラ、こうやって中をえぐって舟みたいにしちまうんだよ。ハロウィンに使うんだからさ」 S・E（ガタン）
105	ジェームスはまな板にナイフを立てる　モーリーとジェームス出て行く　かわってセーラとベッキーがテーブルの前へ来る ゆっくりT・U　テーブルの上を見る二人		モーリー「ホラ、二人とも早くおし!」 セーラ・ベッキー「ハイ!　モーリーさん……」

106	テーブルの上　クルミの半割まだ中の入ってるのやらえぐってあるのやら	
107	ふりむいてジロリと見るミンチン　T・Bするとミンチンの前にはアメリア	ミンチン「……アメリア。私がこの学院でハロウィンのパーティーをやる事を許可したのは誰のためだと思っているのです」
110	タジタジとなるアメリア	アメリア「そ、それは……ラビニアさんの……」
111	ミンチン　もの静かだが威圧的に アメリアふかくうなだれる	ミンチン「そうです……この学院の経営に大切な特別生徒の希望ですからね……。でも、経費は出来る限り押さえるべきです。判っていますね。アメリア」 アメリア「は、はい、院長先生……」
112	出来上ったクルミの小舟をPAN←する	
113	カラをほじる二人　出来たのを置くセーラ	S・E（カリカリカリ…）
114	台所に入ってくるロッティ	S・E(off)（カリカリカリカリ……）

	入口に立って泣き出す カボチャをかかえている　カボチャにフォークとナイフがささっている		ロッティ「……グス……セーラ、ママ〜〜」
115	セーラ　ふりむき立って　すぐロッティに近づいて来る　かがみこんで		セーラ「……ロッティ……どうしたの、ロッティ……?」
116	ロッティ　ベソかきながらカボチャを差し出す（重い）		ロッティ「あたし、カボチャのランタン作れないもん……」
117	セーラ　はっと気づいて ひざをつき　ロッティからカボチャをうけとる　にっこりと笑顔を見せるロッティ		セーラ「あ、そうね……。ロッティにはまだカボチャのランタンはむりね、いいわ、作ってあげる」 ロッティ「はあー」
118	ベッキー　パッと立って		ベッキー「お嬢様、そういうのは私得意です!!」
119	振り返るセーラ　ニッコリして セーラ　立つ		セーラ「まあ!……じゃ、手伝ってね」
120	一同　クルミ作業と反対のテー		ベッキー「はい、お嬢様ー!!（ルンルン気分）

	ブルの端に寄り集まって来てランタン作りを始めるベッキーナイフをぬいて まず頭をくりぬく作業		フフフフ……」 ロッティ「フフフフ……」
121	見守るロッティに		ロッティ「フフフフ……」
122	懸命にカボチャをくりぬくベッキー		
123	にこにことして見つめるロッティ		ロッティ「はあ」
124	スプーンで中をえぐる		生徒達　「ワイワイガヤガヤ」
125	ナイフが入る		〜〜〜〜
126	目や口の形がわかるようになる ラビニアが作っています		〜〜〜〜
127	ポコッと目があく		〜〜〜〜
128	作っている子供達C－PAN→		〜〜〜〜

129	作業する一同		子供達「ワイワイガヤガヤ〜〜」
130	クリスフォード家　ダンロ前 車イスのクリスフォード氏とアフガン犬（間） クリスフォード氏　アフガン犬の首に手をやる　犬首をもたげてクーンとやるのを受けて クリスフォード氏　犬に話しかけるようにつぶやく		S・E（パチパチパチ……） S・E（犬、ク〜〜ン） クリスフォード「となりの少女も気の毒な運命の子らしい……」
131	犬の頭をなぜなぜしつつセリフラスト　手が止ってダンロに目をやる		クリスフォード「私の探している、ラルフの娘も同じような不幸な日をすごしていないでくれればよいのだが……」
132	もえさかるダンロ		S・E（パチパチパチ……）
133	思いつめた様子のクリスフォードにT・U　てり返しゆらゆらしている悲痛な表情のクリスフォード		
135	表　通りのガス燈（夜）		

136	夜の学院全景　T・U	
137	一階ホール・階段前	ミンチン「では、ハロウィンだからといって、ハメを外さぬよう、アメリア先生の言う事をよく聞くんですよ」
138	女生徒達　大声で元気よく答える ミンチン　階段を上っていくと 子供達騒がしくなる	女生徒達「はあ〜〜い!!」 ミンチン「アメリア……。あとを頼みましたよ」 アメリア「はい、お姉様……」 子供達「わいわい、ガヤガヤ!!」
139	生徒達　顔を見合し　喜びにわくわくした表情で騒ぎ始める	生徒達「ワイワイガヤガヤ」
140	振り返るアメリア　にこにこと見廻して	アメリア「……さ、楽しみのハロウィン〜〜〜パーティの始まりですよ」
141	アメリア　うれしそうに生徒達に告げる 飛んだりはねたりする生徒達	一同「ワーイ!!」
142	テーブルの上につみ重ねられた	

	カボチャランタン		
144	囲んで下を向き笑い合っている生徒達		生徒達「キャッキャキャッキャ」
145	タライに浮ぶリンゴを口でくわえようとするが仲々上手くいかないアーメンガード 周りではやしたてる生徒達 くわえようとするが逃げるリンゴ　体を起こしリンゴをにらむアーメンガード		生徒達「ワイワイ、ワイワイ」 アーメンガード「……うーん!!」
146	笑う子供達　ジェシィのぞきこむように		三人「アハハハー!」 ジェシィ「頭を突っこまなくちゃー!!　だめよ!!」
147	ガートルード　おもいきりタライの中へ顔をつっこむ		S・E（ザボン!）
148	（水中）おでこでリンゴをかろうじて押えている　顔でククンと押しやって		S・E（ブクブクブク…ゴボゴボ……）

149	リンゴをくわえて顔を出すガートルード		ガートルード「プハー」
150	はやしたてるジェシー　ラビニア　その他の生徒達		一　同「キャーハハ……あの顔！……ハハハ…」
151	コップをとると小麦粉の山 子供達　手に手にスプーンを持っていて小麦粉の山をけずりだす		Ⓐ「それ!!」 Ⓑ「これでもか」
152	スプーンが小麦の山をすくっていく		Ⓐ「どうぞ！」 Ⓑ「これでもか」
153	誰かが一回に多く取りすぎるもちこたえたかに見えて一瞬のうちに崩れる粉の山落ちる六ペンス玉サッと粉の中に手を突っ込んで A・C		Ⓑ「アハハハハ……やったアー」
154	六ペンス玉をとりあげる粉だらけの手		Ⓑ「ハハハ……六ペンスいただきィ〜〜」
155	アメリアがレーズンを糸に通したものを差し上げて		アメリア「はい、だれかレーズンゲームをやってみたい人！」

156	子供達みんな一勢に手を挙げる		子供達「ハーイ！ ハイ、ハイ、ハーイ！」
157	糸のはじをもち上げるダイアナにっこりとする ＰＡＮ→すると反対側をくわえるドルシラ		ダイアナ「フフッ」 アメリア(off)「よーい！ どーん！」 ドルシラ「モゴモゴ……」
158	ダイアナ 必死に糸をくわえこんでいく		ダイアナ「モゴモゴモゴ……」
159	ドルシラの応援団		一同「ワーワー!! ガンバレ、ガンバレー」
160	二人 必死に糸をくわえていき同時にレーズンをくわえようとして接吻する		Ｓ・Ｅ（ブチュ）
161	どっと笑う一同		一同「ワー！ ハハハハ……」
162	二人 ポッと赤くなる		二人「ま……ヤダ……！」「恥ずかしい」
163	くるくるまわるリンゴと粉袋		

164	リンゴにかぶりつこうとするとくるっと回って粉の袋が顔に当たる		「エイ！　ウプ!!」
165	みんな顔に粉がついてる 失敗した一同　他人のことは笑いとばす		一同「ワーハハハハゲラゲラ……」 ～ （笑い声こぼす）
166	セーラとベッキーが台所でかたずけものをしていると(off)でドアあく音　セーラ　ベッキー見る		S・E（カチャカチャカチャカチャ……） S・E（カチャリ）
167	モーリー　ジェームス外出姿 戸口に立っている タイをキュッとしめつつ		モーリー「さあてと達は久しぶりに院長先生からお許しが出たんで、芝居見物にでも行って来るからね」 ジェームス「あとを頼んだぞ」
168	セーラうなづいて		セーラ「はい、モーリーさんにジェームスさん」
169	ジェームス　外に向きつつ右手で輪をつくり　きどってエスコートする　モーリーと腕をくんで出かけていく		ジェームス「へへ……！」 モーリー「フフッ！」

	（ドアは開けたまま）	
170	二人を見送っているセーラ　ベッキー 吐息するベッキー セーラ　ベッキーを見やって	ベッキー「フーッ……。やれやれ……ハロウィンでも遊べないのは、私たちだけでございますねぇ……」 セーラ「ベッキー……」
171	開いたままのドアから　アメリアが入って来る	アメリア「あ、セーラさんとベッキー。手があいたらパーティーの方を手伝って下さらない？」
172	セーラ　うなづいて	セーラ「ハイ、アメリア先生……」
173	カラフルな小型ローソクをクルミのボートにおし込んでいる PAN→すると出来上ったクルミボート	
174	作業している子供達の手元をのぞき込むアメリア 元気良く返事する子供達	アメリア「……さ、クルミのボートが用意出来た人はローソクに火をつけて、ハロウィンの占いを始めてみましょう」 子供達「ハーイ!!」

175	燭台の火を移していく		
176	ニッコリしたロッティ		ロッティ「ウフフフフ……」
177	自分のローソクを見て喜こぶロッティ　クルミボートを浮べる		〜〜
178	次々とタライの中へクルミボートを浮かべる手		
179	アメリアの号令でみんないっせいに細い棒で水をかきまわす		アメリア(off)「さあ、皆さんの人生を占う船旅の始まりですよ！　ハイ！」 S・E　（バシャ、バシャ、ジャブジャブ…）
180	アメリア　のぞき込んでいる		アメリア「ローソクが燃えつきるまで無事に航海を続ければ、その人は幸せに長生きするそうです」
181	棒でバシャバシャやる手元		〜〜
182	揺れるクルミボート		
183	はしゃぐロッティ		ロッティ「キャッキャッキャッ……」 〜

184	ベッキーとセーラも来ていて 愉しそうに見守る　二人に T・U　顔を見合わせ笑い合う 二人		生徒達「（ADLIB）」〜〜〜 二　人「フフッ！」
185	クルミボートの底にキリで穴を あけるUP		S・E（コリコリコリ……）
186	ジェシー　ラビニアにたずねる ラビニア　ふっとカスをふきと ばす　そして穴をのぞく 二人　キョトンとする		ジェシー「ね、どうするのそれ？」 ラビニア「フフフ……」 ガートルード「穴なんか開けたら、すぐ沈んじゃ うわ」 ラビニア「シィッ、……これはセーラの分よ」 二　人「えッ……？」
187	タライのまわりでさわぐ一同 窓の方からinして来るラビニア ふりむくアメリア ラビニア　セーラ達の方をチラ っと見ながら		一　同「ワイワイキャーキャー」 ラビニア「アメリア先生！……」 アメリア「はい、なあに？」 ラビニア「あのォ、セーラとベッキーをパーテ ィに入れてあげていいでしょうか？」
188	アメリア　単純に受け入れて セーラ達に向いて		アメリア「まあ、ラビニアさん……。私もそう 考えていた所よ。さ、セーラさんとべ

			ッキーも一緒にパーティーをしましょう！」
189	二人　一寸困惑するが素直に受け入れる		二人「えっ?!」 セーラ「は、はいアメリア先生」
190	白いローソクのついたクルミの舟を差し出すラビニア		ラビニア(off)「これ、あなたの分よ」
191	セーラ　手を差しのべて受け取る　もう一つはブルーのローソクがついているクルミ　ベッキーにわたすラビニア		セーラ「ありがとう、ラビニア」 ベッキー「あ、ありがとうございます」
192	手をパンパンたたいてかがみ込むアメリア　たらいのまわりの子供達　返事する		アメリア「さあ、ローソクの火が終った人は交替して」 子供たち「ハーイ!!」
193	皮肉な笑いのジェシー　ガートルード　←PANするとラビニア		ジェシー・ガートルード「クヒヒヒヒケケケ…」

194	ラビニアの真赤なローソク		
195	ピンクのローソクを持ったアーメンガードと一緒にタライの前にしゃがみ込み　それぞれクルミのボートを水面に浮かべる		
196	それぞれタライの中に浮かぶクルミボートC-PAN		
197	二人　ヒヒヒと笑い合って自分の分をタライの中へおもむろに入れる		ジェシー・ガートルード「ウッヒッヒッヒヒヒ……」
198	ラビニアのクルミボートinして水面に浮かぶ		
199	ラビニア　自分のクルミボートを見ていたがセーラのクルミボートに向く		
200	まだ沈まずに浮いているセーラのクルミボート		アメリア「はーい、みなさん準備が出来たようですね」

	PANするとすでに棒を用意しているセーラ	
201	手を叩く 騒がしい生徒達 一生懸命かきまわすジェシーガートルード	アメリア「さあ、人生の舟旅ですよ！ よーいドン!!」 S・E（パン） ラビニアたち「キャッキャ、それー、それー！」 S・E（ジャブジャブ） ジェシー・ガートルード「キャッキャ……」 S・E（ジャブジャブジャブ）
202	セーラとベッキー　うまく舟をふちからはなす	セーラ・ベッキー「フフフ、アハハハ……」 S・E（ジャブジャブ……）
204	二人　一生懸命かきまわす	二　人「アハハハウフフフ……」
205	アーメンガードのがなかなかふちからはなれない	S・E（ジャブジャブ） アーメンガード「それ、それ！」
206	アメリア　それを見て	アメリア「あらあ……いつまでも船がタライのふちにくっついている人は、一生家の中にとじこもっている人になりますよォ……！」

207	アーメンガードふりむいて必死に水をかきまわす		アーメンガード「ええ?!……ヤダア……どうしよう……!!」 S・E（ジャブジャブ）
208	一勢に笑い出す一同		一同「アハハハハゲラゲラ」
209	ベッキーとセーラのクルミが互いに近づきなかよく並んで波間に揺れる		アメリア(off)「二つの舟が並んだらその二人は一生の大部分を共にすごす運命です」
210	顔見合わせて笑う		セーラ・ベッキー「フフフ……」
211	ケケケとあざ笑う三人 ジェシーがラビニアに耳うちする ラビニア手にしていた棒を持ちかえて手のひらで水をかきまわそうとする		三人「ウヒヒヒヒ……」 ジェシー「フフ……一生メイド同士としてね……ヒヒヒヒ……」 ラビニア「今に沈むわ……」
212	A・C ラビニアの手がたらいの中の水をゆっくりと揺り動かしてうねりを作る		S・E（ジャボジャボ……ジャボ……）
213	うねりにのって上下するラビニ		

カット	内容		台詞・S・E
	アのボート　しだいに波にのりはじめる		S・E（ピチャ……ピチャ……）
214	ラビニア　さらにタイミング良く勢おいをつけて波をつくる		ラビニア「それ！　それ」
215	サーフィンみたいに波に押されていくボート		
216A	ラビニアのボートが勢いよくセーラとベッキーのボートに近づいて行く		
216B	ニヤッと笑うラビニア		ラビニア「フフフッ！」
216C	セーラのボートにコツーンとあたるラビニアのボート　セーラのボートとベッキーのボートがはじかれてしまう　out　ラビニアのボートもあとを追う		S・E（コーン！） セーラ・ベッキー(off)「アッ……！」
216D	はじかれたセーラのボート　ショックで例の穴から水がしみ込		

	んでくる		
216E	ハッとなるセーラ		セーラ「ハッ!!」
216F	ベッキーも気づいて		ベッキー「お嬢様!!」
216G	二つのボートがせり合うように波間に上下している　セーラのは今にも沈みそうである		S・E（コツンコツン）
216H	ラビニアしつこくおいかけようとさらに大きく波だたせる　その時大きなしぶきをはねさせてしまう		ラビニア「エイ! エイ! エイ!!」 S・E（バシャ!）
216I	A・C しぶきがクルミのボートをおそう		S・E（ビシャビシャ…バチャ……!）
216I	ラビニアのボートがもろにしぶきをかぶる　ラビニアのだけ消えてしまう		S・E（ジュ〜〜）
216J	ギョッとするラビニア		ラビニア「!!……うわ〜〜」

カット	内容		セリフ・音
216K	消えたローソクをのっけてユラユラと動くラビニアのクルミ		
216L	セーラたちもビックリしている		セーラ・ベッキー「はあ!」
216M	他のクルミ　火がついたまま浮いている		
216N	どよめく一同		一　同「はあ!!　え——」
216O	困惑のセーラ　ローソクを見つめている		
216P	ラビニア　キッとセーラをにらむ　T・U		ラビニア「うううッ!」
217	ワインを注ぎたすミンチン		S・E（トクトクトク…）
	A・C		
218	ミンチン　ビンを置いてセンをしめる　グーッとのみほしてグラスを置く　今度はミートパイをちぎって口へ運ぶ		S・E（コトン、キュキュ） ミンチン「ウーン」 S・E（コト……）

番号	画面		台詞
219	子供達の楽しげな声が聞こえて来る		子供達「ワ〜〜ワ〜〜！ ハハハハハ……パチパチ……（ＥＴＣ）」
220	アメリアが大きなケーキをテーブルの上に置く		アメリア(off)「さあ、おやつはリングケーキですよ！」
221	ケーキをとり囲む一同ＰＡＮ←		一　同「ワー!! キャホキャホー」 アメリア「このケーキには金の指輪がひとつ隠されています。さァ〜どこに入っているかしら……」
222	ワクワクしてのぞく子供達		子供達「フフフ……ハアー」
223	切っていく手元を見るロッティとペネラビ		ロッティ・ペネラビ「ハア〜〜」
224	お皿がテーブルの上に何枚も積み重ねられている　その一枚に隠されたケーキがサーバーでのせられる		Ｓ・Ｅ（カチャ……）
225	アメリア　ちょっと作業を止めて皆に言う　その間にセーラと		アメリア「もし指輪の入っている所に当ったらその人が一番先に結婚することになる

	ベッキーがケーキを配る		と云われています」
226	ケーキを解剖する手		S・E（カチャカチャ……ブス、ブスリ……）
227	はしゃぐ一同		一同「ワイワイガヤガヤ……」
228	セーラもベッキーも探す		S・E（カチャカチャ……）
229	アメリア　皆んなの様子を見て 笑いながら言う 一口たべる　パク!! とやったとたん　すっとんきょ うな声をだす		アメリア「ホホホホ……みなさん真剣な顔をし て！」 アメリア「ウムッ!!　ハア——ッ！」
230	アメリアの声に気づく一同		ベッキー・アーメンガード「ハァ——？」
231			アメリア「……まあ、指輪!!」
232	金の指輪のUP		アメリア「私が、一番先に結婚するなんて……」
233	アメリア　ポーッと赤くなって 恥ずかしそうにうつ向く		アメリア「ど……どうしましょ……」 生徒達(off)「ワ——ハハハ」

234	笑う生徒達		
235	ロンドンの街並み どこかで時計台の音が聞える		S・E (off)（ゴ〜ン、ゴ〜ン）
236	暗くなっている三階の廊下 テーブルの下にうずくまってい るシーザー		S・E　（鐘の音　カラ〜ン、カラ〜ン）
237	寝ていたシーザー　目を覚まし 起き上り　大きくのびをしなが らあくびをする		シーザー「ファ〜〜」
238	もえさしでランタンの中のロー ソクに火をつける		
239	アメリア　もえさしの火をフッ と消してからランタンを持ち上 げて生徒達に言って聞かす		アメリア「フッ……さァ……これが今夜最後の もよおしですよ。そろそろ妖精たちが 私たちの廻りに姿を現わしている時間 です」
240	火のついたランタンをそれぞれ		子供達　「ガヤガヤ……」

	持った子供達	アメリア(off)「では、カボチャのランタンで、暗い所を照らしてそっと探し出してみましょう」
241	暗い一階の廊下 扉があいて　明るい光が カボチャの堤灯をもって窺いつつ出てくるスーザン　つづいて ロッティ	
242	堤灯をかざしてあたりをうかがうスーザン　ロッティ（キョロキョロとオソレながらうかがい見る） 二人　おそるおそる顔を見合わせる	
243	扉のところでワイワイしている生徒たち 手前のセーラとベッキー　顔を見合せてにっこりとし合う	アメリア「……皆さん、ローソクの火に気をつけるんですよ……！」 生徒達「ハーーイ！」 ベッキー・セーラ「フフッ！」

	ワイワイ出ていく子供たち アメリア　二人の方を見て		生徒達「ガヤガヤ（ADLIB）」 アメリア「じゃぁ、セーラさんとベッキー、あとをよろしくね」
244	二人　明るく返事をする		二　人「ハイ！」
245	タライのまわりはびしょびしょ かじりかけのクルミが浮んでる		
246	小机の上はメリケン粉で真白に なっている		
247	テーブルの上はゴチャゴチャと している		ベッキー(off)「……（ためいき）さ、お嬢様、これからが、後片附けで大変でございますよ……」
248	セーラ　苦にせず　むしろベッキー をはげます 二人　元気よく片附け始める		セーラ「（微笑）……フフッ、大丈夫よベッキー。さ、頑張りましょう」 ベッキー「は、お嬢様……!!」 S・E（カチャ、カチャ、カチャ、カチャ、カチャ…）
249A	裏庭のドアからロッティが出て 来る		S・E（カチャリ……）

249B	ロッティ　馬小屋の方へ向う キョロキョロとおそれ乍ら		
250	首をすぼめ　おそるおそるあた りをうかがう また歩き始める		
251	扉　開いて　戸口から次々に顔 を出すラビニアたち		ジェシー「ハア」 ガートルード「ハア」
252	ロッティは馬小屋の入口あたり をなにやら探してる		
253	ロッティ　地面にカボチャおい て　両手で扉をあけている ロッティ　戸をあけて入って来 て中を見まわす		S・E（ガラガラ……）
254	白布をかぶった三人 小屋の入口から中をうかがって 窓の方へまわる		
255	ローソクの光があたっているエ		

	ミリーと写真		
256	ランタンを持ったロッティ、少しかがみ込む感じでみている 手前に来ようとすると(off)で物音がする ギョッとなって窓の方を見る		ロッティ「セーラ・ママもエミリーも、こんな所で寝てるんだわ……かわいそう……」 S・E（ガサ……ガサ……ワラを踏む音） S・E（ゴトン……！） ロッティ「ハァッ！ ハアー」
257	窓の明りとりがひとりでに開く		S・E（ギギギ……）
258	ロッティの顔がひきつる		ロッティ「アアア〜〜！」
259	いきおいよく　お化け登場 次から次へと三匹がクネクネと いかにもお化けっぽく動く		ラビニア「コラァ!! ロッティ——」 ジェシー「お化けェ〜〜！」 ガートルード「食べちゃうぞォ〜〜！」 三人「ケケケケ……」
260			ロッティ「ギャ——!!」 〜
261	後へさがって柱にぶつかり 座り込んでしまう		S・E（ドスン!!） ロッティ「アアアア……」
262	ロッティの主観　せまるお化け		三人「ギャハハハハ、こわいぞ——……」

			クワ〜〜!!」
263	ロッティ　あわてて立ち上って逃げるとき　ランタンをはなしてしまう		ロッティ「キャ——!!」
	A・C		
246A	ワラの上に逆さに落ちて手前の土間に転がるランタン　はずみでローソクがワラのすぐそばに落ちる		S・E（バサッ……! ゴロン……）
264B	逃げるロッティ		ロッティ「ヒャ〜〜〜」
265	明りとりからつっこんでいた上半身をひき出す　かぶっていた布がハラリと落ちる		三人「クスクス……ケタケタ……」
266	ローソクの火がワラに燃えうつる		
267	あらい場で皿をあらっているベッキーの手		S・E（ジャブジャブ、カチャカチャ……）

	(off)でロッティの声	ロッティ(off)「セーラ・ママ！」
268	二人　おやっとなって作業をやめて顔見合わせて　あわててドアの方へ	ロッティ(off)「セーラ・ママ！」 S・E(off)（ガチャリ、バタン）
269	階段をおりて来るロッティ セーラもちょうど出て来て ベッキーとセーラ、顔見合わす	S・E（カチャ） ロッティ「ワ〜〜ン、セーラ・ママ……怖いよォ……！」 セーラ「どうしたの、ロッティ？」 ロッティ「お化けが出たんだよぉ〜〜！」 セーラ「え？」 ロッティ「ウェ〜〜ン」 （ロッティの泣きこぼす） 〜 セーラ(off)「わかったわ。大丈夫よロッティ……。じゃ、私がお部屋まで送ってあげるわ」
270	ラビニアたちが地下の方をうかがいつつヘラヘラとしながら二階へと向う　(off)でセーラの会話が聞える	
271	ぐずっているロッティ セーラ、ロッティをうながして	セーラ「ね……？」 ロッティ「グス……うん……」 セーラ「じゃア、ベッキーちょっとお願いね」

	ラスト　セーラ立つ		ベッキー「はい、お嬢様……」 セーラ「さ、ロッティ……」
272	次第に火が大きくなってきている　ローソクはとけてしまっている		S・E（パチパチ）
273	そのまま燃えひろがってしまいそう		
274	階段を登ってくるセーラとロッティ		
275	ロッティ　自分でドアを開ける 扉を閉めて中に入るロッティ		S・E（カチャリ） セーラ「じゃ、おやすみロッティ」 ロッティ「おやすみなさい、セーラ・ママ……」 S・E（パタン……）
276	体をおこしてホッとためいきつくセーラ		セーラ「フーーッ」
277	洗いものをしているベッキー ふと何か気になって		S・E（ジャブジャブ……カチャカチャ……） ベッキー「……？」

	鼻をクンクンやって	ベッキー「クンクン……」
278	まゆをしかめて首をかしげる	ベッキー「……?」
279	セーラがちょうど戻って来た所へベッキーがあわてて洗場から出て来る セーラもクンクンかいでみる	S・E（カチャリ） ベッキー「あ、お嬢様……なんだか、こげ臭い匂いがしませんでしょうか?」 セーラ「え……?」 ベッキー「なんか、こう……ワラの燃えるようなな……!」
280	セーラ　ハッとなって	セーラ「ハッ! ワラの燃える……!」
281	ドア　おもいきりあけて　中からとび出て来るセーラ	S・E（バーン、ダダダ……） セーラ「はあ〜〜〜」 ベッキー「わあ〜〜」
282	馬小屋の方を見て　あっとなり立ちつくす二人	セーラ「アーー!!」 ベッキー「はっ!!」
283	馬小屋　煙がもうもうと出ている　戸口から地面に映る火の照	ベッキー(off)「た、たいへん!!」

	り返し		
284	セーラ　夢中で小屋へ走る 戸に手をかけ入ろうとする ケムリがふき出す それでもセーラ　中へ入ろうと する		セーラ　「エ、エミリー、エミリーが!!」 ベッキー「あ、お嬢様!」 セーラ　「ああ!!」 ベッキー「あ――お嬢様、あぶない!」
285	炎の中のセーラ　エミリーを見 さだめようとする		ベッキー「わッ」 セーラ　「アア……」
286	まだ奥の方までは燃えていない 炎のすきまからエミリーが見え 隠れする		セーラ(off)「エミリ――!!」
287	はっとなって見るセーラ　火が 顔の前をメラメラと横切る よけるセーラ		セーラ　「ハッ!」
288	火の回っていない方へ行くセー ラ		
289	外から叫ぶベッキー		ベッキー「お嬢様、ムリですよ!」

	290	右手前から奥へまわる　ふきつける炎に途中ちょっとひるむが強引にエミリーの方へ向うセーラ	ベッキー(off)「は、早く戻って!!」 S・E（ゴ――!!） セーラ「あッ」
	291	セーラ　エミリーの所へたどりつき写真を抱きかかえるが　火のまわりが早く　セーラを囲む	セーラ「エミリ――!!」 S・E（ゴオ〜〜）
	292	叫ぶベッキー	ベッキー「早く!!　早くもどって!」
	293	エミリーと写真を抱き　震え見上げるセーラ	セーラ「ウウウ……」
	294	火が柱を伝ってどんどん移っていく	
c-1	~~295~~	恐怖の顔をして　見上げていたが　はっとなって足許を見る	セーラ「ハッ!」
c-2	~~296~~	火が足元にせまる飛びのくセーラの足	

C-3	C-4	C-5	C-6	C-7	C-8
~~297~~	~~298~~	~~299~~	~~300~~	~~301~~	~~302~~
渦巻く煙　壁に貼りついているセーラ　手前から火がセーラに近づく　火勢だんだん強くなっていく	ベッキーが入口に近づき叫ぶ 透かして見る　火がベッキーを襲う　たじろぐベッキー	火がワラをなめていく セーラの足が動く	廻りこんでくるセーラの頭上を柱が落ちる　たじろぐセーラ 急いで戸口へ向ってふらふらになって逃げてくる	ベッキーも少し中へ入ってきてふらふらのセーラを抱きかかえるように外へ出る	ベッキー　セーラをかかえるようにして小屋から遠ざかろうと
	ベッキー「お嬢様!!」 ベッキー「うわ〜〜ッ!」		ベッキー(off)「お、お嬢様〜〜!」	ベッキー「よかった……さ、早く」	

CUT	画面		台詞・音
	手前へ走って来る ふりむくと それまでふき出していた煙が一気に炎と化す		S・E（ゴオ〜〜!!）
C-9 ~~303~~	立ちつくす二人		二人「ハア……!!」
C-10 ~~304~~	小屋から吹き出す炎		S・E（ゴ〜〜〜!!）
C-11 ~~305~~	屋根からもふき出す炎		S・E（ゴオ〜〜）
C-12 306	セーラの心配そうな表情に T・Uする F・O		セーラ（MONO）「……ああ、どうしよう……どうしたらいいの……わたしは、どうしたらいいの?!!」

〈END〉